

令和5年度秋田県青少年健全育成審議会  
会 議 録

日 時 令和5年11月9日（木）午前10時00分～午前11時00分

場 所 秋田地方総合庁舎 6階 総601会議室

出席者

○ 秋田県青少年健全育成審議会委員（敬称略、五十音順） 10名

岩 崎 通 子	秋田県ボランティア団体連絡協議会
笈 川 正 典	秋田弁護士会
大 島 ヒロ子	秋田県警察本部生活安全部人身安全対策課
熊 谷 隆 益	公益社団法人青少年育成秋田県民会議 会長
齋 藤 和 彦	秋田県青少年団体連絡協議会 会長
佐佐木 良 博	秋田県小学校長会 秋田市立河辺小学校長
沢 屋 隆 世	秋田大学非常勤講師
三 浦 公 士	秋田少年鑑別所長
武 蔵 美 佳	秋田県高等学校長協会 秋田県立矢島高等学校長
山 名 裕 子	秋田大学教授

○ 事務局

あきた未来創造部長	水 澤 里 利
次世代・女性活躍支援課長	六 澤 恵理子
同課チームリーダー	青 山 真紀子
同課副主幹	佐 藤 浩太郎
同課主事	赤 川 大 貴

進 行	内 容
事 務 局	1 開会
事 務 局	2 秋田県あきた未来創造部長 あいさつ
	<p>青少年健全育成審議会の開会にあたり、一言御挨拶申し上げます。</p> <p>日頃から、青少年健全育成行政の推進につきまして御尽力をいただき、深く感謝申し上げます。また、本日は大変御多用にもかかわらず、御出席賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、国では4月にこども家庭庁が発足し、この秋には、こども基本法に基づくこども大綱が策定される予定となっており、こどもを社会のまんなかにすえた社会、すべてのこども・若者が幸せに暮らせる社会の実現に向けて取り組むこととしています。県としても、こどもまんなか社会の主役は、こどもと若者ですので、彼らの声をしっかりと受け止め、世代を超えて県全体で支えていく必要があると考えています。</p> <p>この審議会は、青少年を取り巻く課題等に総合的に対応するため、幅広い観点で御審議及び御提言をお願いしているものです。本日の会議では、第3次あきた子ども・若者プランの取組状況やその成果について御報告するほか、こども基本法に基づき、都道府県においても、こども大綱を勘案して、こども施策に関する一体的な計画を策定することとなりますので、その策定スケジュール等についても御説明いたします。</p> <p>本県の出生数は昨年4千人を切り、出生率は全国最下位となっていますが、秋田の未来を切り拓くこども・若者の健やかな成長は、社会の希望であり、礎となるものですので、次世代を担う秋田の青少年が、将来に夢や希望を持ち、心身ともに健やかに成長できるよう、皆様からの貴重な御提言を、今後の各種施策に反映させてまいりたいと考えております。</p> <p>本日は、それぞれのお立場から忌たんのない御意見をいただきますようお願いいたします。</p>

<p>事 務 局</p>	<p>3 委員・事務局の紹介（名簿の読み上げにより紹介）</p> <p>本日の審議会は、委員14名中、10名の出席であり、過半数を超えていますので、当審議会での議決は成立いたします。</p> <p>それでは、次第(4)の「環境浄化部会委員の指名」から会議に入ります。ここからの進行は会長にお任せしたいと思います。</p>
<p>会 長</p> <p>大島委員 佐佐木委員</p> <p>会 長</p>	<p>4 環境浄化部会委員指名</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>先ほどの水澤部長からのお話にもありましたが、この4月にこども家庭庁が発足しました。その中で、すべてのこどもが将来にわたり幸せな生活を送ることができる社会の実現という理念がありますが、青少年を取り巻く環境はとても厳しいと感じています。その厳しさを少しでも和らげて、すべてのこどもが幸せと感じられるような、この秋田県の未来をぜひ考えていきたいなと思っています。</p> <p>今回の審議会では、第3次あきた子ども・若者プランの取組状況に関する審議が中心となりますが、委員の皆様から、専門の立場での様々な御意見をいただきたいと思っています。</p> <p>それでは、次第(4)「環境浄化部会委員の指名」を行います。今回の会議から、人事異動等により新たに2名の委員に出席いただいています。それぞれの前任者の方には環境浄化部会委員を務めていただいていたので、大島委員、佐佐木委員のお二方にも、部会委員をお引き受けいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>（両委員から承諾の声あり）</p> <p>御承諾いただきましたので、秋田県青少年健全育成条例第23条の2第2項の規定により、大島委員及び佐佐木委員を環境浄化部会の委員として指名します。よろしくお願いいたします。</p>

会 長	5 審議
事 務 局	<p>次第(5)「議題」の審議に入ります。</p> <p>本日の議題、「第3次あきた子ども・若者プランの取組状況について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>第3次あきた子ども・若者プランでは、乳幼児期、学童期、義務教育期、思春期、青年期と、こどもや若者の成長段階ごとにステージを分け、各種の指標を設定して施策を推進しています。</p> <p>資料7では、各指標に対する実績値と目標値、達成率による定量的な評価と、現状分析や課題等の記載による定性的な評価を行っています。全部で32の指標のうち、達成率が100%以上のものが4、達成率80%以上100%未満のものが12、達成率80%未満のものが11、令和4年度の実績がまだ出ておらず未判明となっているものが5つありました。</p> <p>第3次あきた子ども・若者プランは令和3年度から6年度までの4年間の計画であり、今回は2年度目の実績となりますが、達成率80%以上の指標が全体の50%を占めており、なかでも「高校生のインターンシップ参加率」や「若者の文化活動等を支援する事業への申請数」など、新型コロナウイルス感染症の流行が収まってきたことを背景に数値が大きく改善しているものもあります。その反面、「英検3級相当以上の学力を有する中学3年生の割合」や「特別支援学校高等部卒業生の就職率」などは数値が低下しており、新型コロナウイルス感染症流行期間中における外出制限等により、対面による実践的な学習や経験を積むことができなかったことが主な要因と考えられます。</p> <p>資料8では、こどもや若者の成長段階ごとのステージ別に各種施策を構成しており、それらの施策に対応して各部署が実施した事業の内容と、令和4年度決算額及び令和5年度予算額を記載しています。</p>
会 長	<p>事務局から説明のありました、第3次あきた子ども・若者プランの取組状況について、御質問、御意見等をお願いします。日ごろ皆様が感じている青少年健全育成への課題や、コロナによる青少年を取り巻く環境変化の影響等についても、お気づきの点がありましたら、お話いただきたいと思います。</p> <p>最初に、資料7の義務教育期②に、不登校児童生徒数が増加している</p>

	とのデータが示されていますが、佐佐木委員から、小学校の教育現場としての御意見等がありましたらお願いします。
佐佐木委員	不登校の問題につきましては、秋田市教育委員会の指示・指導のもと、学校での対応方法が変わってきています。不登校児童に関しては、学校へ来ることが全てではないという考えのもと、その原因や、保護者の考え方等を学校と共有しながら、その子が将来に向かって自立できるよう取り組んでいます。学校へ来ないことは良くない、という考え方ではなく、その子にとって、1人の空間が快適で自分の世界を作り上げることができる判断すれば、保護者と共に、その子のためにそういう空間づくりを、学校もサポートしています。学校現場としては、最終的な不登校というのはあまりいいイメージではないものではありますが、常に一人一人のちょっとした変化も見逃さず、小さいうちから対応していこう、そして理解していこう、保護者と協働していこうと、そういう姿勢で進めており、学校の方でも頑張っていますので、御理解いただければと思います。
会 長	ありがとうございました。あきた子ども・若者プランでは、不登校者数の減少を指標として数値目標を掲げていますが、今のお話を聞くと、今後、もしかすると指標を見直す必要が出てくるかもしれませんね。多様な学び方があって良いので、そういう方向性もあるのかなと思います。
笈川委員	資料7の義務教育期③認知したいじめの解消率について、解消したと評価する基準、どういった場合に解消したと判断しているのか教えてください。
教 育 庁 義務教育課	いじめを認知したこどもについて、いじめを受けている状況がその後3ヶ月以上続かなかったことを一つの目安として、解消したと判断しています。
岩崎委員	資料7の義務教育期及び思春期⑦SOSの出し方に関する教育の実施校の割合について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した学校があるとのことですが、SOSを発信することができなかったこどもがたくさんいるのではないかと、ここが一番大事なところではないかと、との受け止め方をしました。中止した学校に対して何か指導をしている

	<p>ものでしょうか。</p>
保健・疾病 対 策 課	<p>中止した学校に対してのフォローはなかなかできていないところではありますが、今年度の入学式の際に、心の相談窓口の一覧をまとめた「ふきのとうホットライン」パンフレットを生徒へ配布しており、そちらの方から相談窓口につながるように、との周知は図っているところです。</p>
武蔵委員	<p>学校によって、SOSの出し方教室を実施している、していないの違いはあると思いますが、生徒・保護者の方には、そういったパンフレット等を通じて、SOSの出し方についての情報を随時知らせるようにしています。</p>
三浦委員	<p>資料7の乳幼児期⑥里親等委託率について、何に対しての委託率なのか教えてください。</p>
地域・家庭 福 祉 課	<p>委託率の算出にあたっては、施設入所や里親委託等の社会的養育が必要なこども達の全体数を分母とし、実際に里親やファミリーホームに委託されているこどもの数を分子としています。ファミリーホームとは、里親さんが中心になって運営する、定員が5～6名の小規模施設です。</p> <p>県の社会的養育推進計画において、令和11年度には里親等委託率を40%にしたいとの目標を掲げており、里親登録の増加や、今まで以上に委託できるものに関しては保護者に説明していくことで対応しているところです。</p>
会 長	<p>令和4年度の実績が少し下がっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響によるものでしょうか。</p>
地域・家庭 福 祉 課	<p>基本的に委託数はどんどん増えていますが、施設に行くこどもが増えると、分母も増えることがあり、その時々为社会情勢やこども達の環境に左右される側面があります。最終的には40%に近づけていければと考えています。</p>
齋藤委員	<p>資料8の学童期＜施策3＞①安全・安心なまちづくり支援について、今年に限っては、熊による人身被害が大きくなっており、多くのこども達が登下校時等に熊に襲われる危険がありますので、基本的に保護者に</p>

	<p>よる送迎が一番安全なのかなと思いますが、放課後にこども達が安心して外で遊べる環境づくりについてはいかがでしょうか。</p>
教 育 庁 保健体育課	<p>御指摘のとおり、今年は熊の出没による人身被害が非常に大きく、学校の敷地内で熊に遭遇する事例もあり、各学校の対応により、そういう事案があった場合は校内放送や緊急メール等で速やかに注意喚起を行っています。また、保護者への送迎依頼や、学校安全ボランティアと協力した見守り活動を強化しています。ただ、100%安全というのはなかなか確保し辛い部分があり、やはり今はどこでも熊が出没するという状況ですので、複数人で放課後を過ごしてもらうとか、送り迎えを前提とした登下校のお願いをするなど、こども達が安全に過ごせるように、地域と学校が一体となって安全確保に努めている状況です。</p>
熊谷委員	<p>秋田県の出生数が4千人を切り、出生率は全国で最下位という状況に大変驚いており、国全体が少子化だから仕方がないんだと、私も含めて少し諦めムードなところがあると思うのですが、そうではなく、このままでは大変なことになりますし、過疎地ではコミュニティが維持できなくなっているなど、既に大変なことになっているとも思います。出生数を増やすことは難しいかもしれませんが、減少の度合いを少しでも緩和できるような目的で施策を構築しなければならないと思いますが、いかがですか。</p>
次世代・女性 活躍支援課	<p>少子化対策は県の最重要課題の一つであり、全庁を挙げて取り組んでいるところです。出生数を増やすことは難しいとはいいながらも、やはり原因となる若い人達の県外流出をいかにして少なくするかが重要と考えており、秋田県の魅力や働く場の確保などを総合的に取り組んでいるところです。県外に出て行った若者のうち、女性の割合が高い傾向が続いていることから、特に若年女性の定着に力を入れていますが、やはりこどもを産み育てる環境づくりや、こどもを育てながらでも働き続けられるような職場環境など、諸々の施策を講じる必要があります。その上で、ただ産んでくださいということではなくて、やはりその後のこども達の未来を、秋田の未来を託すこども達が健全に良い環境で育っていくことが、将来に対する不安を解消し、みんなが前を向いて取り組んでいけるということにつながると思いますので、青少年の健全育成と環境浄化はもとより、より良い環境を作っていく必要があります、これは県庁だけ</p>

	<p>ではできませんので、学校現場や地域、幅広い年代の県民皆様の力を借りながら取り組んでいくことが大事だと思っています。</p>
会 長	<p>一度下がったものを上げるというのはすごく時間のかかることですし、今のこの状況を生んだのは、私達全員です。私達の世代が次にどうすべきか、時間はかかるけど何とかしたいという思いです。</p>
大島委員	<p>資料7の義務教育期①ネットトラブル被害児童生徒の割合について、ネットトラブルの被害にあった児童生徒をどのような形で認知しているのでしょうか。</p>
教 育 庁 義務教育課	<p>いじめを認知したこどもについて、被害児童が心身の苦痛を感じていないことと、いじめに係る行為が少なくとも3ヶ月は止んでいることを一つの目安として、解消したと判断しています。</p>
会 長	<p>他に意見等が無いようでしたら、「第3次あきた子ども・若者プランの取組状況について」は、これでよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>(異議無しの声あり)</p>
会 長	<p>6 報告等</p>
事 務 局	<p>それでは、次第(6)「報告等」に入ります。</p> <p>「優良図書の推奨について」、事務局から報告をお願いします。</p> <p>資料9「令和4年度優良図書等の推奨について」御報告いたします。</p> <p>この報告は、秋田県青少年健全育成審議会運営要綱第5(2)に基づき、部会長は、部会の議決があった事項については、次の審議会にその要旨を報告することとされているため行うものです。昨年11月に行われた環境浄化部会において、推薦があった1冊の図書に対して、県からの諮問に基づき審議し、優良図書として推奨を答申しています。図書名、発行所等については、資料に記載のとおりとなっており、県では、令和4年12月6日に答申を踏まえて優良図書の推奨を決定し、公表、周知しています。</p>

<p>会 長</p> <p>委 員</p>	<p>なお、今年度につきましても、既に1冊の優良図書の推薦があり、県から諮問されていますので、この全体会終了後、引き続きこの会場で環境浄化部会を開催し、審議する予定としています。</p> <p>事務局から報告のありました「優良図書の推奨」につきまして、御質問、御意見はありますか。</p> <p>(特に無し)</p>
<p>会 長</p> <p>事 務 局</p> <p>会 長</p>	<p>7 その他</p> <p>意見等が無いようですので、(7)「その他」に入ります。</p> <p>事務局から何かありますか。</p> <p>国のこども大綱策定と県の対応について、現在の状況を御説明いたします。参考資料として「こどもに関する取組で国が大事にすること」というタイトルの、こども家庭庁が作成した資料を添付しています。</p> <p>この4月にこども基本法が施行されたことを受け、こども家庭庁では、こども施策を進めていくためのこども大綱の策定を進めているところです。こども大綱では、すべてのこども・若者が健やかに成長でき、まわりの人とよい関係で、将来にわたって幸せに生活できるこどもまんなか社会を目指しており、青少年健全育成についても、ここに盛り込まれる予定です。</p> <p>また、こども基本法では、都道府県においても、こども政策についての総合的な計画を定めるよう規定されており、今後策定されるこども大綱を勘案して定めることとされています。これを受けて県では、第3次子ども・若者プランが終了する令和6年度末までに、次期計画として、秋田県版こども計画の策定を検討しているところです。具体的な策定方針等につきましては現在検討中であり、決まりましたら皆様に御報告いたします。</p> <p>事務局から報告のありました事項、また、全体を通して、皆さんから何かありますか。</p>

次世代・女性 活躍支援課	<p>先ほどの事務局説明について補足いたします。県では、こども計画策定に関して、あきた子ども・若者プランのあり方について、こども大綱が発表された後に本格的な検討を進める予定ですが、国からは、なるべく総合的な計画を、との方針が示されているところです。子育て支援に関する計画である「すこやかあきた夢っ子プラン」を始めとした、こどもに関する既存の各種計画があり、県としては、これらの計画をどこまで整理・統合できるかについて検討を進めていく予定です。後日、次期計画の策定方針や当審議会のあり方も含め、検討した結果を皆様に御報告させていただきます。</p>
会 長	他に何かありますか。
委 員	(特に無し)
会 長	それでは、他に無いようですので、進行を事務局にお返しします。
事 務 局	<p>8 事務連絡</p> <p>皆様、熱心な御審議ありがとうございました。</p> <p>皆様からいただいた御意見につきましては、今後の施策に結びつけられるよう、関係各課で検討してまいります。</p> <p>事務連絡をお伝えいたします。</p> <p>この全体会終了後、休憩を挟みまして、引き続きこの場で環境浄化部会を行いますので、環境浄化部会委員の皆様は、時間になりましたら御着席ください。</p> <p>全体会につきましては、この後、今年度中の開催は予定しておりませんが、重要事項等の審議案件が生じた場合には、開催等について御連絡いたします。</p>
事 務 局	<p>9 閉会</p>

	<p>それでは、これもちまして、令和５年度秋田県青少年健全育成審議会の全体会を終了いたします。</p> <p>皆様、ありがとうございました。</p>
--	--